

湧水

南阿蘇は中央火口丘群と阿蘇カルデラの外縁の間に位置しています。この地域には豊富な自然の泉が湧いています。阿蘇の雨水は、中央火口丘群と南の外縁へと流れ、浸透した火山岩の層を通過して山の下流域まで流れていきます。

下部流域では、水が天然の地下水槽に集まり、九州北部を灌漑する河川に流れていきます。この地下水槽は、生活と農業のために 500 万人以上の人々に水を提供する 6 つの主要河川の主な供給源となっています。

特定の地域では、崖下や丘陵地帯などの地表面より水位が高くなっており、新鮮で清潔な水を生む天然の泉、河川、湿地帯を形成しています。雨として降る水から淡水域を作り上げるに至るまでの一連のサイクルは、20～30 年かかると言われています。

阿蘇地域の火山活動は、南阿蘇において様々な地質構造の変化をもたらしました。地質変化は、この地域の水質の向上に影響を与えています。地下水はいくつもの岩層等を通り、それぞれの泉へ流れているのです。これらの泉の水は何千年もの間、人々の生活を支えてきました。